

1. はじめに

理学部長 永田 潔 文
理学研究科長 西田 昭彦

理学部・理学研究科では、本学部・研究科の教育・研究活動を総括するとともに学内外の人々にお知らせするために、2012年度から「理学部・理学研究科年報」を発行しています。本年報には2020年度の理学部・理学研究科の活動年譜、教員組織、学部・研究科の教育・研究活動、入学志願者の状況や就職状況、社会貢献、国際交流、各学科の研究室毎の活動状況等がまとめてあります。

理学部は1970（昭和45）年4月に応用数学科・応用物理学科・化学科の3学科で創設しました。1976年4月に理学研究科応用物理学専攻および化学専攻の各博士課程を、1990年4月に理学研究科応用数学専攻博士課程を設置しました。その後、1998年4月に地球圏科学科を、翌年4月に理学研究科地球圏科学専攻博士課程（修士課程は1997年4月）を増設しました。理学部は、「数学を含む自然科学領域の探究を通して社会の健全な発展に貢献する」という教育理念を基に、「基礎学力を十分に修得し、自然現象を幅広い視野から理解し、自ら問題を提起し、知識の活用ができる豊かな人間性をも兼ね備えた人材を育成する」ことに努めてきました。また、国際化・情報化、グローバル化の21世紀社会に対応し、既存の学問分野を融合した思考・発想ができる人材を育成するために、2008年4月に文理融合型の人材の育成を目指す「社会数理・情報インスティテュート」と「物理」と「化学」を柱とした「ナノサイエンス・インスティテュート」を設置し、さらに同年4月には応用物理学科を物理科学科に改称する改革に努めてきました。

2020年の活動で特徴的なことが2つあります。1つは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、理学部の教育研究活動に大きな変化がもたらされました。福岡県では4月7日に第1回目の緊急事態宣言が発令され、前期のほとんどは入構禁止となり、遠隔で授業を行いました。後期は入構ができるようになりましたが、授業のほとんどは遠隔となりました。また国内の移動だけでなく、海外への渡航も禁止となり、国際交流事業をほとんど行うことができませんでした。他の1つは今年、理学部は創立50周年を迎えることになり、色々な記念事業を行ったことです。ただし当初の計画にあった記念祝賀会や講演会などは、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となりました。理学部の教育研究活動に与えた新型コロナウイルスの影響と50周年記念事業について、この年報でも報告いたします。

研究活動においては、国内外との共同研究や著名な外国人研究者の招聘など国際的なレベルで研究を進めています。また科学研究費をはじめ外部資金の獲得も積極的に行ってい

ます。「福岡から診る大気環境研究所」は、医学部眼科学教室との協力を軸に 15 機関（大学、研究所、企業等）19 名の学外研究員を迎え産学官連携事業を活発に行っています。本学キャンパスを、環境省の PM2.5 組成自動観測装置を含む総合観測サイトとして運用し、観測を軸とした PM2.5 の健康影響に係る研究を継続し、9 月には研究会を開催しました。第 62 次南極地域観測隊において無人航空機を用いた環境観測を行うため越冬隊員を派遣（2022 年 3 月帰国予定）しています。また、昨年度から福岡大学基盤研究機関研究所の一つとして発足した「爆発天体研究所」では、コロナ禍の中、オンライン会議などを通じて成果発表を行い、12 機関（大学、研究所）、11 名の学外研究員（海外研究機関所属）と積極的な国際共同研究を推進し、多くの科学的成果を得ました。

本学部・研究科の社会貢献活動としては、地域の教育支援活動、地域との交流活動を推進しました。しかしこれらの活動もコロナ禍の中で、2020 年度は規模が縮小しました。詳細は本年報をご参照願います。

人事に関しては、2021 年 4 月に、浅尾 泰彦（応用数学科）助教、佐藤 龍一（応用数学科）助教、吉武 愛（応用数学科）助手が着任しました。また 2021 年 3 月末に、大熊 健太郎教授（化学科）が退職しました。大熊教授には 2021 年 5 月に福岡大学名誉教授の称号が授与されました。大熊先生は長年にわたり理学部の教育・研究活動に携わってこられました。ここに改めて感謝の意を表します。

国際交流事業では、2020 年度には応用物理学専攻に Volodymyr Kruglyak（エクセター大学）、及び化学専攻に Pirre-Marie Dehe（マルセイユがんセンター）をそれぞれ招聘して大学院生の指導や教員との共同研究を行う予定でしたが、コロナ禍のため来日できませんでした。また、例年行っている蔚山大学との国際交流事業は、正課の授業も含めてコロナ禍で海外渡航ができなかったため、中止となりました。同様に、学生の海外研修もコロナ禍で、該当者がいませんでした。